

おつかれさま 上原投手

引退メッセージ募集中!

プロ野球でルーキー20勝の鮮烈デビューを果たし、大リーグではワールドシリーズの胸上げ投手となった上原浩治選手(44)が5月20日、現役引退を発表。それを受けて寝屋川市は、上原投手に宛てた市民からのメッセージをホームページで募集している。6月30日まで受付。

手は憧れの先輩。学校に野球を教えに来てほしいと、キャプテンの中村光毅君(14)。

市北東部の団地で育った上原さんは、小学生になると2歳年上の兄を追うように少年野球チームに入り野球を始めたが、地元中学校には野球部がなく、陸上部に入部。野球は週1回の少年野球に限られていた。陸上部顧問だった草野保幸さんは「勉強も運動も優秀な兄と比べられて悔しい気持ちがあったと思います」と当時を振り返る。

23日には母校の市立第十中学校に「上原浩治先輩 夢・感動・ありがとう!」の懸垂幕が掲げられた。当時はなかった野球部も先輩に続けと9年前に誕生。現在は男女20人が在籍している。「大リーグで活躍した上原投手を獲得するも、投手に転

2年で外野のレギュラーになった。さらに野球を続けたいと大阪体育大学をめざすが受験に失敗。予備校になつた。さら



母校に掲げられた垂れ幕と第十中学校野球部員

向後は控えになった。さらに野球を続けたいと大阪体育大学をめざすが受験に失敗。予備校になつた。さら



野球教室で指導する上原選手(2012年2月)

仰星高校野球部時代は2年で外野のレギュラーを獲得するも、投手に転向後は控えになった。さらに野球を続けたいと大阪体育大学をめざすが受験に失敗。予備校になつた。さら

7年前の取材で見た、震災被災地の陸前高田市から野球チームを招いた交流会で、子ども達に練習や投球を教える気さくな笑顔が忘れられない。